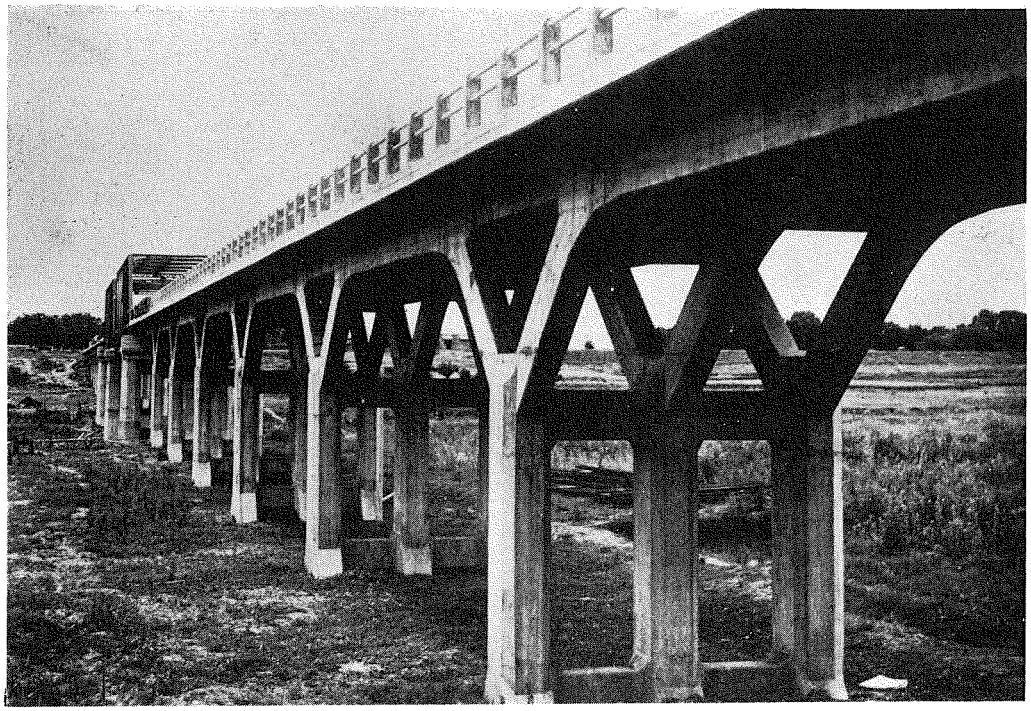
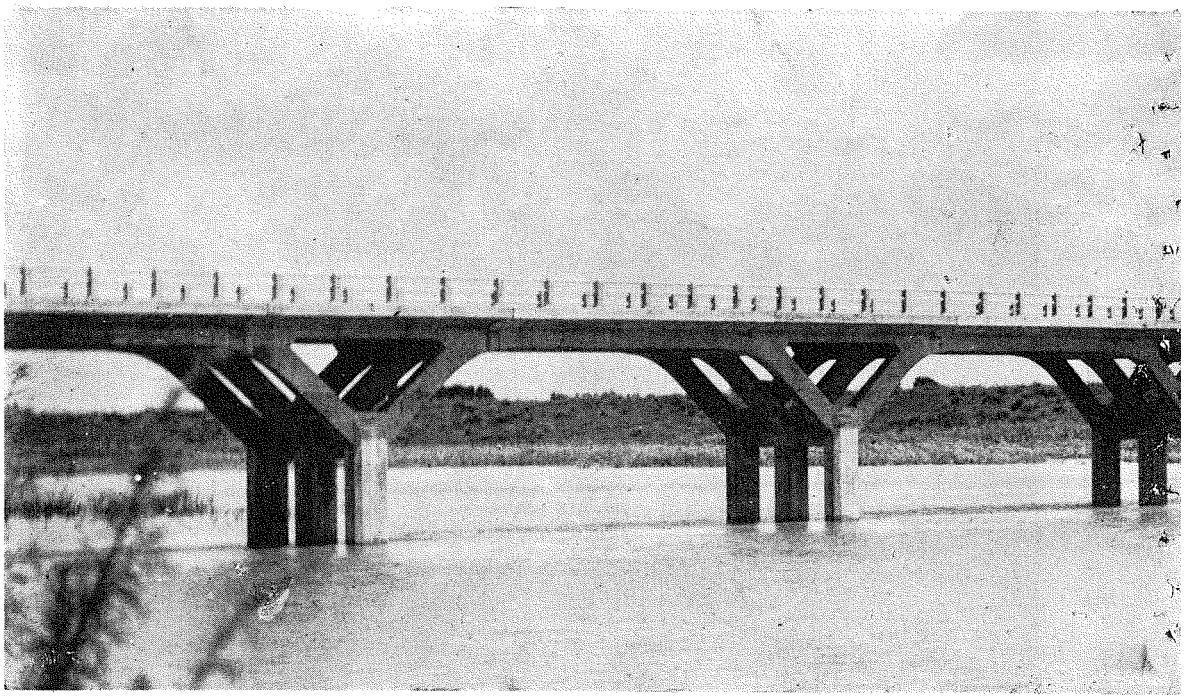


單　純　の　勝　利

技術は一つの流れである。其の個々の發展の段階を見てゐると飛躍があつて、不連續の如くにも感じられるが、之れを大きく大所から眺めるとき、やはり一つの流れと見るのを至當とする。そうして技術的な個々の作品は、その流れの斷面を見せたものと考へられるのである。固定された一つの斷面を、後生大事と持ち廻るのは技術者の假面をかぶつた職人である。良き技術者は流れと共に進み、眞の技術者は流れを切り開いて導いて行く。

橋梁月評(3)

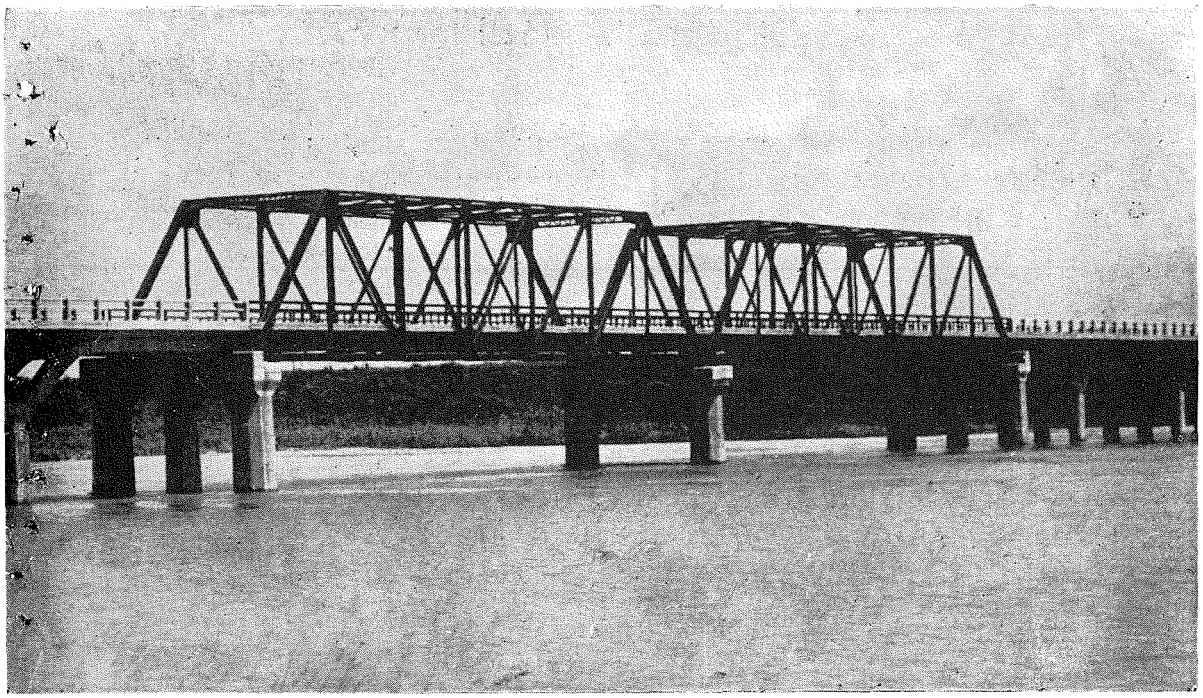
入間大橋



入間橋は金森誠之博士の指導設計になるもので、すでに多くのものにも發表され、其の眞價は遍く人の識る所、今此處で月評に取り上げるのも、いさゝか今更めく感じがないでもないが、上で云つた技術の流れの最も新鮮な斷面を見せたものとして、是非更めて見度いと思ふのである。

此の橋の好さは、『正しい單純』さの一語に盡きると思ふ。明快且つ極めて純化された構造は、必然的に計算を容易にし、施工を合理化し、所要經費の減少となり、しかも其れ等の綜合的結果として見るからにスツキリとしたムダのない引き締つた形を造り出してゐる。コロムブスの卵と同樣で、出來上つたものを見れば、なぜこんな形が今まで用ひられてゐなかつたんだらうと云ふやうなもので、何等の奇もなく見える所が、此の橋のいよいよ正しく洗練されてゐる事を物語つてゐるのではないだらうか。例へば蛇行してゐる流れに對して一直線のショート・カットをつけたやうなものだ。徒らに晦澁な理論の曠野に行き惱んでゐるとき、まことにアツサリと直線路を示して呉れたのだ。ナーンダと云ふやうな、そうしてホツトしたやうな氣持ちである。

最も容易に見える『單純さ』に到達する事の難しさを、筆者等常々身に泌みて感じてゐ



る。明快な頭腦、自信、勇氣、之等が揃つて始めて成し遂げ得る所である。此の點設計者に滿腔の敬意を表すると共に、自信のある設計を直に實行に移し得る金森氏の地位は甚だ幸福なものだと思ふ。と云ふ意味は、世に埋れた俊才がその設計を妥協的な零圍氣に沮まれて、實現し得ぬ事實が甚だ多い事を、併せて云つて置き度かつたのである。

筆者として此の橋に少し氣懸りなる點は、單桁から方杖へ移る所に用ひてある曲線である。無くて好いものだと思ふが、或は計算上必要だつたのかも知れない。しかし單桁の部分だけは一直線にしてしまつた方が一層此の設計を明快にしたと思ふ。

勾欄、親柱共に申分なし。經費を制限されると變な飾りを省く爲め、却つて淸楚なものが出來るものだ。

金森博士の活躍には、かねがね敬意を表してゐるが、その地位を利し、その頭腦を働かして、層一層斯界の爲めに貢獻せられん事を願つて止まない。(M)

後記、七月號で後報を約して置いた瀬社橋設計擔當者は、現在愛媛縣の技師をしてゐられる岡本舜之氏。